

令和7年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	後藤 亜季
論 文 タ イ ト ル	BGMのテンポの違いが視線行動に及ぼす影響 ーアパレルショップを想定した商品画像閲覧課題による検討ー
要 旨	<p>BGMのテンポが人の視線行動に与える影響は十分に検討されていない。本研究の目的は、BGMのテンポの違いがアパレルショップを想定した商品画像閲覧時の視線行動に影響するかどうかを明らかにすることであった。実験参加者は、アップテンポのBGMを聴きながら画像を閲覧する群（アップテンポ群）、スローテンポのBGMを聴きながら画像を閲覧する群（スローテンポ群）、BGMなしで画像を閲覧する群（BGMなし群）にわけられた。実験の結果、2体のマネキンが映し出された画像では、アップテンポ群の注視回数が、他の群よりも有意に少なかった。2体の画像は1体のものより情報量が多く、アップテンポのBGMが注意の範囲を制限したことで、注視回数の低下につながったと考えられる。得られた知見は、アパレルショップにおける適切なBGMのテンポ設定への示唆を与えるだけでなく、多くの情報にさらされる環境の空間設計へ寄与する可能性をもつ。</p>